

平成29年度

病害虫発生予察情報 第10号

注意報第4号

北海道病害虫防除所 平成29年7月27日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshoh/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

あぶらな科野菜のコナガが多発傾向！ 薬剤抵抗性個体の発生に対応した防除を心がけよう！

長沼町および北斗市の予察ほ場において、7月上旬からフェロモントラップへのコナガ成虫の誘殺頭数が多い状態が続いています。キャベツに寄生する幼虫の頭数も、7月中旬になって急激に増加しています。気温の高い状態は今後も継続すると予報されていることから、コナガの発生にとって好適な条件は続くものと見込まれます。

これに加えて、抵抗性を発達させたコナガの飛来により、従来コナガに対して高い防除効果を示していたジアミド系薬剤の防除効果の低下も確認されています。そのため、コナガ防除に当たっては、異なる系統の薬剤によるローテーション防除を実施すると共に、防除を実施した後の効果確認に努め、防除効果が低いと判断された場合にはすみやかに他系統薬剤による防除を実施するなど、コナガの発生動向に対応した防除を徹底してください。

1. 発生地域 全道

2. 発生程度 多

3. 注意報発令の根拠

- 1) 予察ほ場におけるフェロモントラップによるコナガ成虫の誘殺頭数は、長沼町、北斗市のキャベツほ場で7月2半旬から平年を上回っている。
- 2) 両地点における幼虫の寄生頭数は、7月3半旬までは平年並に推移していたが、4半旬以降、平年を上回っている。
- 3) 札幌管区気象台より7月25日付けで発表された3ヶ月予報によると、8月の気温はやや高いと予報されており、今後もコナガの発生に好適な条件が続くものと見込まれる。
- 4) 平成26年以降に、道内で採取したコナガから、ジアミド系薬剤に対する抵抗性を示す遺伝子を保持する個体が確認されており、ジアミド剤を連用したほ場では同系剤の防除効果の低下も確認されている。

4. 防除対策

- 1) 防除にあたっては、複数系統の薬剤を用いたローテーション防除を実施する。
- 2) ジアミド系薬剤に対する抵抗性個体が発生している。防除実施後には適宜防除効果を確認し、コナガ幼虫の寄生が目立つ場合にはすみやかに他系統薬剤による防除を実施する。
- 3) 防除間隔を開けすぎないように留意する。

フェロモントラップによるコナガ成虫の誘殺頭数

月・半旬	長沼町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
7月1半旬	30	62.4	12	61.7	6	8.4	8	4.5
2半旬	230	81.7	80	46.4	3	7.5	1	5.4
3半旬	295	143.9	198	47.8	2	5.8	7	6.0
4半旬	183	150.8	78	61.7	4	5.8	7	4.7
平年数	10		10		10		10	

注) 設置場所はあぶらな科野菜ほ場。ただし芽室町はあぶらな科野菜以外のほ場近辺、訓子府町は雑草地

予察ほのキャベツにおけるコナガ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
7月1半旬	0	5.1	19	3.9
2半旬	15	19.2	7	67.9
3半旬	54	48.0	46	35.2
4半旬	149	75.5	201	85.5
平年数	10		10	

注) 10株あたりの寄生虫数